





設置工事説明付き

Bar UB-5838C UB-5338C





保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- •ご使用の前に「安全上のご注意」(6~9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管して ください。



イラストは UB-5838C です。 スタンドはオプションです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうござ います。

■ 本書の構成について

取扱説明	安全上のご注意や、操作のしかた、アフターサービスなどについて
6 ~ 37 ページ	説明しています。
設置工事説明 (サービス技術者専用) 39 ~ 56 ページ	組み立て時の安全上のご注意や、本体・スタンドの組み立て、壁掛 け工事について説明しています。

■ 本書の表記について

本書では、操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のマークで表しています。

お願い	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項を記載しています。 必ずお読みください。
お知らせ	操作の参考となることや補足説明を記載しています。
rs ()()	ご覧いただきたい参照ページを記載しています。

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの

①国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券 ②未使用の郵便切手、官製はがき

③政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類

●注意を要するもの

①株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数を コピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。

②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの 切符類のコピーも避けてください。

●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その 他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

ご使用の前に

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。 アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 アース工事については、本製品の価格には含まれておりません。

電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

■ 商標および登録商標について

- Microsoft、Windows および Windows Vista は、いずれも米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国におけ る登録商標または商標です。
- IBM および AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。

● SD ロゴは商標です。

- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。
- This software is based in part of the work of the Independent JPEG Group.
- This software is based on the "libtiff" which has the following copyrights:

Copyright (C) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (C) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

■ 事故・損傷における免責事項

本製品は、トレーニングを受けたサービス技術者による設置工事が必要です。正しく設置されなかった場合などの事故および製品の損傷に対しては、当社は、その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品の特徴

UB-5838C / UB-5338C はフィルムボードタイプのカラー電子黒板です。 フィルムボードを使用していますので、2 画面を簡単に切り替えて、以下の機能を使用することができます。

各モデルは以下のような仕様となっています。

UB-5838C: ワイドタイプ UB-5338C: 標準タイプ

■ プリンターへの印刷

電子黒板に書いた文字をカラーまたはモノクロで読み取って推奨プリンターに印刷することができます。

■ USB フラッシュメモリーへの読み取り

電子黒板に書いた文字をカラーまたはモノクロで読み取って USB フラッシュメモリーに保存することができます。*1

*¹ すべての USB フラッシュメモリーでの動作を保証するものではありません。

■ SD メモリーカードへの読み取り

電子黒板に書いた文字をカラーまたはモノクロで読み取って SD メモリーカードに保存することができます。*² *² SDHC メモリーカードには対応していません。すべての SD メモリーカードでの動作を保証するものではあ りません。

■ コンピューターインターフェース機能

USB 大容量記憶装置デバイス対応により、専用のドライバーやソフトウェアをコンピューターにインストール する必要がなく、コンピューターを接続するだけで電子黒板に書いた文字をカラーまたはモノクロでコンピュー ターに読み取ることができます。

電子黒板には2画面まで読み取った画像を保管することができます。

		×ージ
はじめに	安全上のご注意. 正しくお使いいただくためのお願い 付属品の確認 各部のなまえとはたらき	.6 10 12 13 14
使う	お使いになる前に	15 16 17 18 19 21 23 24 24 24 24 25 26 26 26 27 28
困ったとき	日常のお手入れ	29 29 30 31 33 35 36 37
設置工事説明	設置工事説明(サービス技術者用)	39 J

(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(次は図記号の例です。)









漏電した場合は、火災・感電の原 因になります。

アース線接続

●アース線接続ができない場合は、お買い上げの 販売店にご相談ください。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える 使いかたや、交流 100V 以外での使 用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、 発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴ったら機器や電源プラグに触れない



感電の原因になります。

接触禁止







正しくお使いいただくためのお願い

使用場所について	 直射日光の当たる場所や、ストーブ、冷暖房機の吹出口の近くに置かない でください (機器が変形したり、変色します。) 屋外、直射日光の当たる場所、窓ぎわの明るい場所では使用しないでくだ さい (正しく複写できないことがあります。) 10℃以下の場所や、急激な温度変化のある場所では使用しないでください (複写しても写らないことがあります。)
スクリーン フィルム面に ついて	 複写可能範囲内に、太く濃く書いて ください 右図の網掛け部分は複写できません。 書いたまま長時間放置しないでください (消えにくくなります。) 汚れのひどいイレーサー(黒板消し)で消さないでください 定期的に水にぬらしてよくしぼったやわらかい布で、軽くふいてください 落ちにくい汚れは、市販のホワイトボードクリーナーを使用してください スクリーンフィルム送り中は、手で触れたり、マーカーで書いたり、 イレーサー(黒板消し)で消さないでください スクリーン面にチャート用紙を貼りつけてコピーしないでください (故障の原因になります。)
マーカー・ イレーサー (黒板消し)に ついて	 ・性能保持のため、付属品または別売品(108 36 ページ)を使用してください (付属品または別売品以外を使用すると、スクリーンフィルム面を傷つけたり、消えに くくなることがあります。) ・マーカーは、水平に保管してください (上向きに保管すると、インクが出なくなることがあります。)
電源スイッチ	 電源を切ったあとで再度入れる場合には、2秒以上待ってから電源を入れてください
電源コード・ USB ケーブル	 ・付属の電源コードは本機器専用です。他の機器には使用しないでください ・機器を移動するときは、電源コードおよび USB ケーブルを電子黒板から抜いてください ・(引きずったり踏んだりして、ケーブルを傷つけることがあります。) ・USB-IF のロゴ認証された USB シールドケーブルをご使用ください ・電子黒板を USB ハブに接続すると、動作しないことがあります ・2 台以上の電子黒板を 1 台のコンピューターに接続しないでください ・(コンピューターの動作が不安定になることがあります。)

メモリーデバイスを廃棄/譲渡するときのお願い

コンピューターの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更される だけで、メモリーデバイス内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーデバイス本体を物理的に破壊するか、市販のコンピューター用 データ消去ソフトなどを使ってメモリーデバイス内のデータを完全に消去することをおすすめ します。

メモリーデバイス内のデータはお客様の責任において管理してください。

記憶内容保存のお願い

コンピューターの記憶装置は、使用誤りや静電気・電気的ノイズ・振動・ほこりなどの影響を 受けたとき、また故障・修理や使用中に電源が切れたとき記憶内容が変化・消失する場合があり ます。

ご使用に際しては、取扱説明書に記載された注意書きをよくお読みください。 なお、次のことを必ずお守りください。

● 重要な内容は必ずデータをバックアップし保存するか、原紙を保存してください。 使用誤りや外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきまして、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

付属品の確認

付属品の確認

以下の付属品がすべてそろっているか、ご確認ください。 万一不足の品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

付属	電源コード (約3m)1	取扱説明書(本書)1 保証書1
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(消耗品)*	
覧	マーカー(黒・赤・青)各 1	イレーサー(黒板消し)1

※消耗品については、別売品を用意しています。別売品番などの詳細は、☞ 36ページ。

各部のなまえとはたらき

正面



コントロールパネル



なまえ	はたらき	
12:34 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本機が待機状態の場合には、以下の内容を表示します。 • 上部左には時刻が表示されます。 • 上部右には出力先設定(プリンターまたはコンピューター)が表示されます。 • 左端のマークは現在の読み取りモードを示します。 • 中央には現在の読み取り先が表示されます。	
モード切替 マ	 キーを押すごとに、読み取りモードを切り替えます。 現在の読み取りモードはディスプレイの左端にマークで表示されます。 ♪ カラー: カラーで読み取ります。 ① 白黒: モノクロで読み取ります。 	
②モード切替キー	していた。 していた。	
設定	本機の設定を変更する場合に押します。(☞ 24 ページ)	
③設定キー	プレビューモード: 下の部分を表示します。 設定モード: 次の項目を選択します。	
画面送り	スクリーンフィルム面が右から左へ送られます。	
▲ 画面送りキー	プレビューモード: 右の部分を表示します。 設定モード: 右の項目を選択します。またはその項目を実行します。	
スタート/ストップ (5) スタート/ストップ	スクリーンフィルム面が複写されます。 複写中に押すと、複写を途中で止めることができます。	
+-		

お使いになる前に

本機は情報セキュリティに配慮した以下の機能を持っ ていますので、正しくお使いください。

■ 操作パスワード機能

電源投入時と一定時間経過後に第三者が電子黒板 を操作できないようにパスワードを設定すること ができます。 パスワードの設定方法については、27ページを ご参照ください。

パスワード入力画面では以下の画面が表示されま すので、モード切替キー(**⊋1**)/設定キー (▼2)/画面送りキー(►3)のいずれかを押 して4桁のパスワードを入力してください。



お知らせ

パスワードは忘れないようにしてください。
 万一、パスワードを忘れたときは、お買い上げの販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

■ スクリーン消し忘れ防止機能

読み取り終了後、スクリーンに書かれた内容の消 去を促す以下の画面が表示されます。



スクリーンに書かれた内容を消し忘れて第三者に 見られるのを防止するため、この画面が表示され たら、書かれた内容を消去してください。 この画面を解除するためには、モード切替キーを 押してください。

お知らせ

本機は約5分間操作しないと、ディスプレイの焼付
 防止のためスクリーンセーバー機能が働き、以下のような画面が表示されます。



この画面を解除するためには、いずれかのキーを押 してください。

読み取る

スクリーンに書かれた文字を読み取って、プリンター に複数枚複写したり、USB フラッシュメモリーまた はSDメモリーカードにイメージデータとして保存し たり、コンピューターに保存することができます。 複数の読み取り先が同時に利用可能な場合は、以下の 優先順位で読み取り先が選択されます。

- 1. コンピューター
- 2. USB フラッシュメモリー
- 3. SD メモリーカード
- 4. プリンター

現在の読み取り先はディスプレイに表示されていま す。

お願い

 ・屋外、直射日光の当たる場所、窓ぎわの明るい場所 では使用しないでください。複写が白くなったり、 黒くなったりすることがあります。

お知らせ

以下の画面が表示されているときは、適切な読み取り先がありません。この場合には、スタート/ストップキーを押しても読み取りは行われません。



 USB フラッシュメモリー・SD メモリーカードまた はコンピューターに読み取ってイメージデータとし て保存する場合は、ファイル形式として PDF 形式 または JPEG 形式を選択することができます。(25 ページの「ファイル形式設定」をご参照ください。)

- イメージデータは USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードの以下のフォルダーの中に保存 されます。
 - [フォルダー] UB-5838Cの場合: "UB-5838C" UB-5338Cの場合: "UB-5338C"
- イメージデータは USB フラッシュメモリー・SD メ モリーカードまたはコンピューターに以下の名前で 保存されます。

[ファイル名]

MMDDHHxx.PDF(PDF ファイル形式の場合)



[ファイル拡張子]

PDF ファイル形式: "MMDDHHxx.PDF" JPEG ファイル形式:"MMDDHHxx.JPG"

 使用可能なプリンター・USB フラッシュメモリー・ SD メモリーカードについての情報は、以下のアドレスをご参照ください。
 http://panasonic.biz/doc/eboard/

ub-5838c_info.htm

- スクリーンがホーム位置以外のときに、電源スイッチを「I」(ON)にすると、ホーム位置まで移動して停止します。
- 裏面のスクリーンを読み取るときは、画面送りキー を押してスクリーン画面を送ったあと読み取ってく ださい。

使

う

プリンターに複写する

推奨プリンターを接続して、プリンターに複写することができます。

お願い

- 必ず推奨プリンターをご使用ください。
 推奨プリンター以外での動作は保証できません。
 局流れ多体でで使用いただくために、たらかじめころ。
- 最適な条件でご使用いただくために、あらかじめプ リンターの設定が必要となることがあります。
- 推奨プリンターおよびプリンターの設定についての 情報は、以下のアドレスをご参照ください。 http://panasonic.biz/doc/eboard/ ub-5838c_info.htm

■ プリンターを接続する

- 1 電子黒板の電源スイッチを「I」(ON)に する。
- **2** 出力先設定が [プリンター] になっていることを確認する。
 - 出力先設定が[プリンター]になっているときは、ディスプレイの右上にプリンターのアイコンが表示されています。



 出力先設定が [プリンター] になっていない 場合は、26ページに従って出力先設定を [プリンター] に変更してください。

3 電子黒板のプリンター/コンピューター 用 USB コネクター(B タイプ)に USB ケーブルを接続し、反対側をプリンター の USB コネクター(A タイプ)に接続 する。



- ▲ プリンターの電源を入れる。
 - プリンターが認識されると画面中央にプリン ターのアイコンが表示され、待機状態になりま す。



■ プリンターに複写する

- 1 モード切替キーを押して、読み取りモー ドを設定する。
- 2 複数枚複写する場合は、設定キーを押したあと、ディスプレイに複写希望枚数が表示されるまで画面送りキーを数回押して、複写枚数(1から9)を設定する。
 ・複写枚数設定の詳細は、24ページをご参照ください。
- 3 スタート/ストップキーを押す。
 - 読み取りおよびプリンターへの印字が開始され、 ディスプレイに複写状況が表示されます。



- プリンターへの印刷が終了すると、スクリーン消し忘れ防止画面が表示されます。
- 4 スクリーンに書かれた内容を消去したあ と、モード切替キーを押して、待機画面 に戻る。

お知らせ

 インクカートリッジの装着や記録紙のセットなどの プリンターの使用方法については、プリンターの取 扱説明書をご参照ください。



- 4 スタート/ストップキーを押す。
 - USB フラッシュメモリーへの読み取りが開始され、ディスプレイに読み取り状況が表示されます。



 読み取りが完了すると、ディスプレイに読み 取った画像全体が表示されます。



お願い

- プレビューが表示されるまで、USB フラッシュメモリーは絶対に抜かないでください。
- 5 読み取った画像の細部を表示させる場合 は、画面送りキー(▶)を押す。



- ディスプレイの左上に現在表示している部分が表示されます。
 下の部分を表示させる場合は設定キー(▼)、
 右の部分を表示させる場合は画面送りキー
 (▶)を押します。
- 画像全体表示に戻る場合は、モード切替キー
 (
) を押します。



7 スクリーンに書かれた内容を消去したあ と、モード切替キーを押して、待機画面 に戻る。

- 待機画面に戻ったら、USB フラッシュメモリー を抜くことができます。
- USBフラッシュメモリーに保存されるファイ ルについては、16ページをご参照ください。

SD メモリーカードに読み取る

┫ 電源スイッチを「I」(ON)にする。

2 SDメモリーカードカバーを開けて、SDメ モリーカードをSDメモリーカードスロッ トにカチッとロックするまで押して挿入 し、SDメモリーカードカバーを閉じる。



SD メモリーカードがディスプレイに表示され、待機状態になります。



お知らせ

• SDHC メモリーカードには対応していません。

 SD メモリーカードが認識されない場合は、 コンピューターの標準フォーマットソフト ウェアでフォーマットされている可能性があ ります。

電子黒板で使用する際は、必ず専用のソフト ウェアで SD メモリーカード規格に準拠する ようにフォーマットを行ってください。

フォーマットを行うと SD メモリーカードの データはすべて削除されます。必ずデータを バックアップしてからフォーマットを行うよ うにしてください。

フォーマットするための専用のソフトウェア は、以下のホームページよりダウンロードす ることができます。

http://panasonic.jp/support/sd_w/ download/sd_formatter.html う

- **3** モード切替キーを押して、読み取りモード を設定する。
- 4 スタート/ストップキーを押す。
- SD メモリーカードへの読み取りが開始され、 ディスプレイに読み取り状況が表示されます。



 読み取りが完了すると、ディスプレイに読み 取った画像全体が表示されます。



お願い

- プレビューが表示されるまで、SDメモリー カードは絶対に抜かないでください。
- 5 読み取った画像の細部を表示させる場合 は、画面送りキー(▶)を押す。



- ディスプレイの左上に現在表示している部分 が表示されます。
 下の部分を表示させる場合は設定キー(▼)、
 右の部分を表示させる場合は画面送りキー
- (▶)を押します。
 画像全体表示に戻る場合は、モード切替キー
 (2)を押します。

- スクリーンに書かれた内容を消去したあ
 と、モード切替キーを押して、待機画面に戻る。
 - 待機画面に戻ったら、SDメモリーカードを抜くことができます。
 - SDメモリーカードを抜く場合は、SDメモ リーカードカバーを空けて、SDメモリー カードを押すと、ロックが解除されて取り出 すことができます。
 - SDメモリーカードに保存されるファイルについては、16ページをご参照ください。

コンピューターに読み取る

■ コンピューターのシステム環境

コンピューター	IBM [®] PC/AT [®] 互換機
インターフェース	USB 2.0 / USB 1.1*1
オペレーティング システム	Windows [®] 2000* ² (Service Pack 4 以降) Windows [®] XP* ³ (Service Pack 2 以降) Windows Vista [®] * ⁴ Windows [®] 7* ⁵

- *¹ 本機は Hi-Speed USB 2.0 に対応していません。お使いの コンピューターが Hi-Speed USB 2.0 に対応していても、 本機は Full Speed USB 2.0 で動作します。
- *² Windows 2000 の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 operating system です。
- *³ Windows XPの正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] XP operating system です。
- *4 Windows Vistaの正式名称は、Microsoft[®] Windows Vista[®] operating system です。
- *⁵ Windows 7の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] 7 operating system です。

■コンピューターを接続する

1 電子黒板の電源スイッチを「I」(ON)に する。

2 出力先設定が [コンピューター] になっていることを確認する。

 出力先設定が[コンピューター]になっている ときは、ディスプレイの右上にコンピューター のアイコンが表示されています。



・出力先設定が[コンピューター]になっていない場合は、26ページに従って出力先設定を[コンピューター]に変更してください。

3 電子黒板のプリンター/コンピューター 用 USB コネクター(B タイプ)に USB ケーブルを接続し、反対側をコンピュー ターの USB コネクター(A タイプ)に 接続する。

お知らせ

USBケーブルはプリンターに接続しているものを使用することができます。



 コンピューターが認識されると画面中央にコン ピューターのアイコンが表示され、待機状態に なります。



 コンピューターでは電子黒板がリムーバブル ディスクとして認識され、そのドライブがエ クスプローラーで表示されます。

お願い

- USB ケーブルは添付されていません。
 USB-IF のロゴ認証された USB シールドケーブルをご使用ください。
- USB ハブを使用しないでください。USB ハブを使用した場合、誤動作を起こす可能性があります。
- 2台以上の電子黒板を1台のコンピューターに接続 しないでください。(コンピューターの動作が不安 定になることがあります。)

使

う



5 電子黒板で読み取った画像の細部を表示
 させる場合は、画面送りキー(▶)を押す。



- ディスプレイの左上に現在表示している部分が 表示されます。
 下の部分を表示させる場合は設定キー(▼)、
 右の部分を表示させる場合は画面送りキー
 (▶)を押します。
- 画像全体表示に戻る場合は、モード切替キー (こ)を押します。
- こ モード切替キー(⊋)を押す。
- •スクリーン消し忘れ防止画面が表示されます。
- 7 スクリーンに書かれた内容を消去したあ と、モード切替キーを押して、待機画面 に戻る。
 - 待機画面に戻ったら、コンピューターと接続している USB ケーブルを抜くことができます。
 Windows 2000 の場合は、以下の手順に従ってください。
 - コンピューター画面右下のタスクトレイに ある[ハードウェアを取り外すかまたは取 り出す]アイコンを右ボタンクリックす る。
 - 2 機器の一覧が表示されたら取り外すデバイ スをクリックし、[停止] ボタンをクリッ クする。
 - 3 電子黒板とコンピューターを接続している USB ケーブルを抜く。
 - コンピューターに読み取られたファイルについては、16ページをご参照ください。

本体を移動する

- 1 電源スイッチが「○」(OFF)になって いることを確認し、電源コードをコンセ ントと電子黒板から抜く。
 - プリンターまたはコンピューターを接続している場合には、それらの接続も外してください。

2 キャスターロックを解除する。



3 衝撃や振動を与えないようにして、移動 する。

お願い

•移動は必ず二人で行ってください。





設定する

コントロールパネルから以下を設定することができま す。

お知らせ

 設定メニューの先頭のプリンター複写枚数設定
 メニューはプリンターが接続されている場合にのみ 表示されます。

プリンター複写枚数設定

プリンターに複数枚複写する場合、1~9の複写枚数 を設定することができます。

▲ 設定キーを押す。

 ディスプレイに設定画面が表示され、プリン ター複写枚数設定が選択されます。



- 2 ディスプレイに希望複写枚数が表示されるまで画面送りキー(▶)を押す。
- 3 モード切替キー (⊋)を押して、待機画 面に戻る。

お知らせ

 モード切替キー(2)の代わりにスタート /ストップキーを押すと、すぐに読み取りを 開始することができます。

時刻印刷設定

読み取ったイメージに時刻を入れるかどうかを設定す ることができます。



┨ 設定キーを押す。 ● ディスプレイに設定画面が表示されます。



お知らせ

- 設定メニューの先頭のプリンター複写枚数設 定は、プリンターが接続されている場合にの み表示されます。
- 2 以下の時刻印刷設定が選択されるまで、
 設定キー(▼)を押す。



- 3 画面送りキー(▶)を押して、(四)(時刻 印刷オン)または(□)(時刻印刷オフ)に 矢印を合わせる。
 - ・時刻印刷オフの場合、ディスプレイ表示は以下のようになります。



4 モード切替キー(マ)を押して、待機画 面に戻る。

ファイル形式設定

USB フラッシュメモリー・SD メモリーカードおよび コンピューターに保存するファイル形式を設定するこ とができます。

設定キーを押す。

• ディスプレイに設定画面が表示されます。



2 以下のファイル形式設定が選択されるまで、設定キー(▼)を押す。



- 3 画面送りキー(▶)を押して、
 PDF)または PEG(JPEG)に矢印を合わせる。
 - PDF に設定すると PDF ファイル形式で、JPEG に設定すると JPEG ファイル形式で保存されま す。
- **4** モード切替キー(**2**)を押して、待機画 面に戻る。

お知らせ

 JPEG に設定すると、読み取られたイメージは 90 度回転して保存されます。グラフィックソフトウェ ア等を使用して回転させてください。



設定する

時刻設定

時刻を設定することができます。

- ▲ 設定キーを押す。
 - ディスプレイに設定画面が表示されます。



2 以下の時刻設定が選択されるまで、設定 +-(▼)を押す。



3 画面送りキー(►)を押す。
 ・ディスプレイに時刻画面が表示されます。
 画面送りキー(►)で変更する項目を選択し、
 設定キー(▼)で数値を設定します。



4 モード切替キー (マ) を押して、待機画 面に戻る。

出力先設定

プリンター/コンピューター用 USB コネクター (B タイプ)の出力先をプリンターまたはコンピューター に設定します。

現在どちらに設定されているかは、ディスプレイの右 上のアイコンで確認することができます。





[プリンター出力]

- [コンピューター出力]
- 設定キーを押す。 ● ディスプレイに設定画面が表示されます。



 2 以下の出力先設定が選択されるまで、設 定キー(▼)を押す。



- 3 画面送りキー(▶)を押して、プリン ター出力(□)またはコンピューター出 力(□)に矢印を合わせる。
- 4 モード切替キー(マ)を押して、待機画 面に戻る。

パスワード設定

第三者の操作を禁止するために、電源投入時と一定時 間経過後にパスワードを入力させるように設定するこ とができます。

- 設定キーを押す。
 - ディスプレイに設定画面が表示されます。



2 以下のパスワード設定が選択されるまで、 設定キー(▼)を押す。



- 3 画面送りキー(▶)を押す。
- **4** すでにパスワードが設定されている場合 には、4桁のパスワードを入力する。
- 5 画面送りキー(►)を押して、パスワー ドオン(1)またはパスワードオフ (1)に矢印を合わせる。



- 6 設定キー(▼)を押して、パスワード設 定を決定する。
 - パスワードオフを選択した場合は、待機画面に 戻ります。
 - パスワードオンを選択した場合は、以下の操作 を継続してください。

7 画面送りキー(▶)を押して、パスワー ド入力間隔を設定する。



- パスワード入力間隔は、15分/30分/1時間
 /2時間/4時間/8時間を選択することができます。
- 8 設定キー(▼)を押して、パスワード入 力間隔を決定する。
- 9 パスワード入力画面が表示されたら、 モード切替キー(⊋1)/設定キー (▼2)/画面送りキー(►3)のいず れかを押して4桁の新しいパスワードを 入力して、待機画面に戻る。



お知らせ

パスワードは忘れないようにしてください。
 万一、パスワードを忘れたときは、お買い上げの販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています電話先へお問合せください。

う

テスト印字

電子黒板からプリンターに正しく印字できるかを確認 する場合には、テスト印字を行ってください。 テスト印字を実行すると以下のパターンが印刷されま す。



- カラーで印刷されます。
- 設定キーを押す。
 - ディスプレイに設定画面が表示されます。



2 以下のテスト印字が選択されるまで、設定キー(▼)を押す。



- テスト印字メニューが表示されない場合は、プリンターが認識されていません。
 「プリンターに複写する」(mage 17 ページ)を参照して、正しくプリンターを接続してください。
- 3 画面送りキー(▶)を押す。
 - ・テストパターンが印刷されます。
- 4 モード切替キー (マ)を押して、待機画 面に戻る。

お知らせ

- テストパターンがかすれる場合は、インクカート リッジの交換時期です。プリンターの取扱説明書に 従ってインクカートリッジを交換してください。
- 最適な条件でご使用いただくために、プリンターの 設定が必要となることがあります。プリンターの設 定についての情報は、以下のアドレスをご参照くだ さい。

http://panasonic.biz/doc/eboard/ ub-5838c_info.htm

テストパターンが印刷されない場合はプリンターに
 問題があります。プリンターの取扱説明書などに
 従って対処してください。

日常のお手入れ

本体を清掃するときは、必ず電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いてください。

スクリーンフィルム面・本体部のお 手入れ

水にぬらしてよくしぼった柔らかい布で、軽くふいて ください。



お願い

 落ちにくい汚れには、水で薄めた台所用中性洗剤を 使用してください。

誤って油性マーカーで書いた場合、少量のエチルア ルコールでふき取ってください。この際は、換気を よくしてください。

- シンナーやベンジン、研磨剤または界面活性剤入りの洗剤などは使わないでください。(変色や消去不良の原因になります。)
- 乾いた布でスクリーンフィルム面をふかないでくだ さい。(静電気が発生する原因になります。)

イレーサー(黒板消し)のお手入れ

イレーサーの消去面が汚れたら、指で下層のシートを 押さえ、汚れたシート(白またはグレイのシート)を 矢印の方向に引いて1枚はがしてください。



お願い

- 白またはグレイのシートを1枚だけはがすようにしてください。
- イレーサーが薄くなったら、消すときにイレーサー の角がスクリーンフィルム面に当たらないようにし てください。(スクリーンフィルム面を傷つけるこ とがあります)

電池交換

本体の電源を入れるたびに時刻設定画面がディスプレイに表示されるときは、時計用の電池が消耗しています。以下の手順で電池を交換した後、時刻設定(18726 ページ)を行ってください。

1 コントロールパネル下側のネジ(1箇所) をゆるめ、電池ホルダーを取り外す。



お願い

- 他のネジはゆるめないでください。
- 2 古い電池を外し、新しい電池を ① 表示 面を上にして取り付ける。
 - ・電池は必ず「CR2032」を使用し、
 ① の方向を間違えないように挿入してください。



3 電池面を上にして電池ホルダーを取り付け、手順1でゆるめたネジを締めつける。



4 時刻を設定する。 (☞ 26 ページ)

お願い

 使えなくなった電池は、速やかに取り出し、テープ などで端子部を絶縁し、地域で定められた方法に 従って処理してください。

故障かなと思ったとき(簡単なトラブル点検)

ディスプレイにエラー記号またはエラーコードが表示されている場合は、「こんな表示が出たら」(☞ 33 ページ)を 参照ください。

故障かなと思ったときは、下表に従って処置してください。直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と処置	参照 ページ
電源スイッチを入れても ディスプレイが点灯しない。	電源プラグが確実に差し込まれているか確認してください。 (それでも点灯しないときは、電源をいったん切って、入れ直してくだ さい。)	
スクリーンフィルム面に書 いた文字が消えにくい。	 ・水を浸した布をよくしぼってふいてください。 ・文字や線は、ゆっくり書いてください。はやく書いた文字や線は消え にくくなることがあります。 ・文字や線を消すときは、マーカーのインキが十分乾いた状態で消して ください。 ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。文字や線が消 えにくくなることがあります。 	
スクリーンフィルム面に書 いた文字の端が読み取られ ない。	読み取られない部分に文字を書いている。 → 読み取られない部分には文字を書かないでください。	10
読み取り画像が白い/薄い/ かすれる。	スクリーンフィルム面への記入が細い、または薄い。 → 太く、濃く書くか、新しいマーカーに取り替えてください。	_
黒や白の横線が出る、また は読み取られない/黒く読 み取られる。	強い光が当たっていたり、窓ぎわの明るい場所で使用している。 → 本体の向きをかえるか、光を遮ってください。	_
スタート/ストップキーや 画面送りキーを押してもス	読み取り先がない。 → USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードをセットす るか、プリンターまたはコンピューターを接続してください。	16
クリーンフィルム面が動か ない。	スクリーンフィルム面をふくときに、静電気が発生している。 → 電源を切り、スクリーンフィルム面を手でゆっくりと動かしてく ださい。	_
プリンターに印刷された画像 が色がうすい/かすれる/真 白になる。	 テスト印字を行って、正しく印字されるか確認してください。 プリンターのインクカートリッジのインクがなくなっている。 → プリンターの取扱説明書に従ってインクカートリッジを交換して ください。 	-
プリンターに複写できない。	USB フラッシュメモリーまたは SD メモリーカードが挿入されてい る。 → USB フラッシュメモリーおよび SD メモリーカードを抜いてく ださい。	16
 本機がプリンターを認識し	本機で使用できないプリンターである。	17
ない。	出力先設定が [コンピューター] になっている。 → 出力先設定を [プリンター] に変更してください。	17 26
	推奨プリンターか確認してください。	_
プリンターへの印刷に非常に 時間がかかる。または小さく 印刷される。	推奨プリンターが最適な条件に設定されていない。 → プリンターを最適な条件に設定してください。 ※ 推奨プリンターおよびプリンターの設定についての情報は、以下の アドレスをご参照ください。 http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-5838c_info.htm	_

<u>故障かなと思ったとき(簡単なトラブル点検)</u>

症状	原因と処置	参照 ページ
USB フラッシュメモリーま たは SD メモリーカードを 認識しない。	本機で使用できない USB フラッシュメモリーまたは SD メモリー カードである。 → 使用可能な USB フラッシュメモリー・SD メモリーカードにつ いての情報は、以下のアドレスをご参照ください。 http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-5838c_info.htm	
	USB フラッシュメモリーを USB ハブを通して接続している。 → USB ハブを通して接続しないでください。	_
USB フラッシュメモリーを 認識するのに非常に時間が かかる。	USB フラッシュメモリーが FAT32 でフォーマットされた直後である。 → 一度ファイルが書き込まれると、次回から時間がかからないよう になります。	
USB フラッシュメモリーま たは SD メモリーカードに 保存された画像が 90 度回 転している。	JPEG 形式の画像は 90 度回転して保存される。 → グラフィックソフトウェアなどで正常な向きに回転させてくださ い。	
	コンピューター用 USB ケーブルが正しく接続されているか、また本機 が動作できる状態になっているか確認してください。	21
コンピューターが本機を認 識しない。	本機を USB ハブを通して接続している。 → USB ハブを通して接続しないでください。	_
	出力先設定が [プリンター] になっている。 → 出力先設定を [コンピューター] に変更してください。	21 26
コンピューターへの読み取 り後に画像ファイルが表示 されない。	コンピューターに表示されたリムーバブルディスクを開き、エクスプ ローラーの [表示]メニューから [最新の情報に更新]をクリックして ください。	
電源スイッチを入れると ディスプレイに時刻設定画 面が表示される。	電池が消耗している。 → 電池を交換し、時刻を設定してください。	

こんな表示が出たら

エラー時にはディスプレイに以下のエラーコードが表示されます。

エラーコード	原因	処置	参照 ページ
U103021 ~U103025 U403021 ~U403025	スキャナーまたはスクリーンフィルム面 に直射日光や強い光が当たっている。	本体の向きをかえるか、光を遮ってくだ さい。	_
U403011 U403012	スクリーンフィルム面が動かない。	電源を切り、スクリーンフィルム面を手 でゆっくりと動かしてください。	_
▲ U314225	プリンターにインク切れが発生している。	プリンターの取扱説明書に従ってプリン ターのインクカートリッジを交換してく ださい。	—
i U314226	プリンターに記録紙がセットされていな い。	プリンターの取扱説明書に従ってプリン ターに記録紙をセットしてください。	_
<mark>%</mark> √U314227	プリンターに紙ジャムが発生している。	プリンターの取扱説明書に従ってプリン ターのジャムを解除してください。	—
U314228	プリンターが動作中である。	プリンターが待機状態になるまで待った あと、複写を開始してください。	_
U414209	プリンターへの印刷中に USB ケーブル が抜かれた。	プリンターとの USB ケーブルを確実に接 続し、必要枚数を再度複写してください。	17
U314229 U314231	プリンターへの印刷中に通信異常が発生 した。	プリンターの電源を入れ直してください。 それでもエラーが表示される場合は、プ リンターが壊れている可能性があります。	_
U314224	プリンターに異常が発生している。	プリンターの電源を入れ直してください。 それでもエラーが表示される場合は、プ リンターが壊れている可能性があります。	_
	対応していないプリンターが接続されて いる。	推奨プリンターを接続してください。	17
U314161	プリンターではなくコンピューターが接 続されている。	推奨プリンターを接続してください。 コンピューターに読み取る場合には、出 力先設定を[コンピューター]に変更し てください。	17 21 26
♦ U307010	USB フラッシュメモリーの空き容量が不 足している。	コンピューターを使用して、空き容量を 増やしてください。	_
♦ U306010	SD メモリーカードの空き容量が不足している。	コンピューターを使用して、空き容量を 増やしてください。	_
🔒 U307035	ライトプロテクトされた USB フラッ シュメモリーがセットされている。	ライトプロテクトを解除してください。	_
🔒 U306035	ライトプロテクトされた SD メモリー カードがセットされている。	ライトプロテクトを解除してください。	_
♦ U407010	USB フラッシュメモリーへの読み取り中 に容量不足が発生した。	コンピューターを使用して、空き容量を 増やし、再度読み取ってください。	_
♦ U406010	SD メモリーカードへの読み取り中に容 量不足が発生した。	コンピューターを使用して、空き容量を 増やし、再度読み取ってください。	_
U307144	USB フラッシュメモリーへの書込み異常 が発生した。	コンピューターを使用して USB フラッシュ メモリーに正常に書込めるか確認してくだ さい。	_
U306144	SD メモリーカードへの書込み異常が発生した。	コンピューターを使用して SD メモリー カードに正常に書込めるか確認してくだ さい。	_

故障かなと思ったとき(簡単なトラブル点検)

エラーコード	原因	処置	参照 ページ
U407209	USB フラッシュメモリーへの読み取り中に USB フラッシュメモリーが取り出された。	USB フラッシュメモリーを挿入して、再 度読み取ってください。	_
U406209	SD メモリーカードへの読み取り中に SD メモリーカードが取り出された。	SD メモリーカードを挿入して、再度読み 取ってください。	_
U307014 U307160 U407035	USB フラッシュメモリー内の以下の保存フォ ルダーが読み取り専用に設定されている。 UB-5838C: "UB-5838C" UB-5338C: "UB-5338C"	保存フォルダーを書き込み可能に設定し てください。	16
U306014 U306160 U406035	SD メモリーカード内の以下の保存フォ ルダーが読み取り専用に設定されている。 UB-5838C: "UB-5838C" UB-5338C: "UB-5338C"	保存フォルダーを書き込み可能に設定し てください。	16
U307001 U307002 U307161	使用できない USB フラッシュメモリー がセットされている。	セキュリティ機能などの特殊な機能を 持った USB フラッシュメモリーは使用で きません。	_
U307037	対応していない FAT16 形式でフォー マットされた USB フラッシュメモリー がセットされている。	コンピューターを使用して FAT32 形式 でフォーマットを行ってください。 フォーマットを行うと USB フラッシュメ モリーのデータはすべて削除されます。 必ずデータをバックアップしてから フォーマットを行うようにしてください。	_
	SDHC メモリーカードがセットされてい る。	SDHC メモリーカードには対応していま せん。 SD メモリーカードをご使用ください。	_
U306001 U306002	使用できない SD メモリーカードがセッ トされている。	SD メモリーカードが認識されない場合は、 コンピューターの標準フォーマットソフト ウェアでフォーマットされている可能性が あります。 電子黒板で使用する際は、必ず専用のソフ トウェアで SD メモリーカード規格に準拠 するようにフォーマットを行ってください。 フォーマットを行うと SD メモリーカード のデータはすべて削除されます。必ずデー タをバックアップしてからフォーマットを 行うようにしてください。 フォーマットするための専用のソフトウェ アは、以下のホームページよりダウンロー ドすることができます。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ download/sd_formatter.html	_
U413209	コンピューターへの読み取り中に USB ケーブルが抜かれた。	コンピューターとの USB ケーブルを確実 に接続し、再度読み取ってください。	21 22
U413010	読み取り中に本機の内部メモリー不足が 発生した。	スクリーンフィルム面に書かれた文字を 減らして、再度読み取ってください。	_
U407208 U406208	ファイル名の通番が最大(99)に達し た。	USB フラッシュメモリーまたは SD メモ リーカードの以下のフォルダー中の画像 ファイルを他の場所に移動してください。 UB-5838C: "UB-5838C" UB-5338C: "UB-5338C"	16

そのほかの表示については、販売店にお問い合わせください。

	品番	UB-5838C	UB-5338C	
	電源	交流 100 V、50/60 Hz		
	消費電力:作動時	22 W		
	外形寸法 (スタンド除く):	1,125 × 1,998 × 224	1,125 × 1,636 × 224	
	縦×横×幅(mm)			
	外形寸法 (スタンド付き):	1,830 × 1,998 × 700	1,830 × 1,636 × 700	
	縦×横×幅(mm)			
枳垔	質量(スタンド除く)	約 28 kg	約 26 kg	
1111.5<	質量(スタンド付き)	約 36 kg	約 34 kg	
	使用環境条件	周囲温度:10℃~35℃、湿度	: 30 % ~ 80 %	
	保存環境条件	周囲温度:-20℃~60℃、湿	度:15%~80%	
	ディスプレイ	1.8 インチカラー LCD		
	時計用電池	リチウムボタン電池(CR2032)	× 1 個	
	PC インターフェース	Full Speed USB 2.0*		
		* 本機は Hi-Speed USB 2.0 に対応していません。		
	画面数	2 画面フィルムホワイトボード ()	暗線入り)	
	ボード画面サイズ:	838 × 1,740	838 × 1,378	
	_ 縦×横(mm)			
	読み取り画面サイズ:	790 × 1,722	790 × 1,360	
	_縦×横(mm)			
		密着型イメージセンサーアレイ方	式	
	読み取りモード	カラー/白黒		
入力部	読み取りサイズ	通常サイズ / フルサイズ	通常サイズのみ	
		【通常サイズ】	カラー/白黒:	
	縦 X 横 (dot/mm)		2.2 × 2.2	
		./ × ./		
		24×17		
	 - 読み取り時間	カラー: 30 秒		
	※読み取り終了まで	白黒: 20秒		
プロンター	インターフェース	Full Speed USB 2.0		
出力部		1~9枚		
USB	インターフェース	Full Speed USB 2.0		
フラッシュ	対応フォーマット	FAT (FAT16)/FAT32 フォーマット (最大容量 : 32 GR)		
メモリー出力部	保存ファイル形式			
	SD 規格	Version 1.10		
SD XTU-		※ SDHC メモリーカードおよび S	3D I/O 規格には対応していません。	
ーメモリー カード	対応フォーマット	FAT16 フォーマット *1 (最大容量:2 GB)		
出力部	保存ファイル形式	PDF/JPEG		

上記の仕様にプリンターは含まれていません。

t様

仕様

使用可能なプリンター・USB フラッシュメモリー・SD メモリーカードについての情報は、以下のアドレスをご参照ください。

http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-5838c_info.htm

*1 SD メモリーカードが認識されない場合は、コンピューターの標準フォーマットソフトウェアでフォーマットされている可能性があります。
電子黒板で使用する際は、必ず専用のソフトウェアで SD メモリーカード規格に準拠するようにフォーマットを行ってください。
フォーマットを行うと SD メモリーカードのデータはすべて削除されます。必ずデータをバックアップしてからフォーマットを行うようにしてください。
フォーマットするための専用のソフトウェアは、以下のホームページよりダウンロードすることができます。

http://panasonic.jp/support/sd_w/download/sd_formatter.html

別売品

オプション 機器	スタンド:	UE-608035
	マーカー:	KX-B031N(黒 10 本セット)
		KX-B032N(赤 10 本セット)
消耗品		KX-B033N(青 10 本セット)
	イレーサー:	KX-B042N(6 個セット)
	マーカー・イレーサーセット:	KX-BO35N(マーカー黒・赤・青各 本、イレーサー 個)

オプション機器や消耗品の購入は、電子黒板をお買い上げの販売店までご連絡ください。

• プリンターの消耗品は、プリンターの取扱説明書をご参照ください。

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ お申し付けください

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確か め、お買い上げの販売店からお受け取りくださ い。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から 本体 6ヵ月間

ただし、マーカー、イレーサーは消耗品ですの で、保証期間内でも「有料」とさせて頂きます。

■補修用性能部品の保有期間 5年

当社は、この電子黒板の補修用性能部品(製品の 機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 5年保有しています。

■ 修理を依頼されるとき

31~34ページの表に従ってご確認のあと、直 らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い 上げの販売店またはサービス実施会社へご連絡く ださい。

- 保証期間中は 保証書の規定に従って、出張修理をさせていた だきます。
- 保証期間終了後は 診断をして修理できる場合は、ご要望により修 理させていただきます

お買い上げの販売店またはサービス実施会社にご 依頼にならない場合には、保証書表面に記載され ています電話先へお問合せください。 ※修理料金は次の内容で構成されています。

|技術料| 診断・修理・調整・点検などの費用 |部品代| 部品および補助材料代 |出張料| 技術者を派遣する費用

ご連絡いただきたい内容

● 製品名:	電子黒板
● 品番:	UB-5838C
	UB-5338C
● お買い上げ日 :	年月日
●故障の内容	できるだけ具体的に

■ アフターサービスなどについて、お わかりにならないとき

お買い上げの販売店・サービス実施会社または保 証書表面に記載されています電話先へお問合せく ださい。

ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱い について

- お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修 理確認などのために利用し、残すことがありま す。
- •個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な 理由がある場合を除き、第三者には提供しません。
- ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話 させていただくことがあります。

(お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡く ださい。)

設置工事説明(サービス技術者用)

	ペー
安全上のご注意	40
本体の組み立て	
 ● 開梱 ● 付属品の確認 ● 設置 	
動作の確認	49
● 動作確認の前に ● 時刻設定 ● 動作確認手順	
再包装	
壁掛け工事	
● 壁掛けの確認	5 52 53
スタンド(オプション機器)の組み立て	55
● 付属品の確認	55 56

- 電子黒板の設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 組み立ておよび工事の前に、この「設置工事説明(サービス技術者用)」をよくお読みの うえ、正しく設置してください。

特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全に設置してください。

設置工事説明どおりに正しく設置されなかった場合などの事故および製品の損傷に対して は、当社は、一切の責任を負いかねます。

●電子黒板の設置は、2人以上で作業してください。

(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(次は図記号の例です。)







事前確認

設置前に設置工事説明をよく読んでください。

- 本機を設置するときは、次のことに注意してください。
 ・冷暖房機の近くや、直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所、床や土台が不安定な場所、 シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近く、振動の多い場所は避けてください。
 - · 設置環境 温度: 10 ~ 35 ℃
 湿度: 30 ~ 80 %
 - ・風通しの良い平らな場所をお選びください。
 - ・電源コードの上に重い物を載せないでください。
- 2. 装置重量は以下のようになります。
 本体質量
 UB-5838C:約28 kg
 UB-5338C:約26 kg
- 3. 電源は 100 V、15 A の単独コンセントをご使用ください。
- 4. 必要な道具
 +ドライバー
- 5. この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A
- 6. 包装寸法(高さ×幅×奥行)/質量

	UB-5838C	UB-5338C
電子黒板本体	1,294 × 2,200 × 445 mm /約 45 kg	1,294 × 1,837 × 445 mm /約41 kg
スタンド(オプション機器) UE-608035	83 × 1,580 × 234 mm /約 10 kg	83 × 1,580 × 234 mm /約 10 kg

7. 外形寸法(単位:mm) · UB-5838C







· UB-5338C







本体の組み立て

■ 開梱

ジョイントを外し、本体を包装箱から取り出す

- UB-5838C ジョイント:12 個
- UB-5338C ジョイント:8個



※ この図は UB-5338C を示しています。
 UB-5838C は中央の上下にも緩衝材があります。

お願い

- スクリーン部を取り出すときは、スクリーンフィルム面を持たず、枠を持ってください。
 (スクリーンフィルム面を持つと、傷つけることがあります。)
- 包装箱を外すときは、スクリーン部に当てないようにしてください。
 (スクリーン部が倒れることがあります。)
- •スクリーン固定テープをはがすときは、スクリーンを傷つけないように上から下にゆっくりとはがしてください。
- 輸送用包装箱、緩衝材などの包装資材は、再包装時に必要ですので大切に保管してください。

■ 付属品の確認

次のものが付属されていますのでご確認ください。

No.	部品名	形状	員数	注意事項
1	平ワッシャー	\bigcirc	4	スタンド取付用
2	壁掛け金具		2	壁掛け用
3	クランプ	Ð	1	スタンド設置時の 電源コード用
4	電源コード		1	

お願い

•以下の付属品はお客様にお渡しください。

マーカー(黒・赤・青).....各1
 イレーサー(黒板消し).....1
 取扱説明書(本書).....1
 4. 保証書.....1

設置工事説明

本体の組み立て

■ 設置

- 壁掛けの場合は、「壁掛け工事」(☞ 51 ~ 54 ページ)に従って、壁に壁掛け金具を 取り付けてください。
- スタンド取り付けの場合は、「スタンド (オプション機器)の組み立て」(☞ 55 ~56ページ)に従って、スタンドを組 み立ててください。

輸送用包装箱をたたむ



2 本体から保護袋を取り外したあと、輸送 用包装箱の上にスクリーンフィルム面を 下にして本体を載せる



お願い

スクリーンフィルム面が緩衝材や包装材に
 当たらないようにしてください。(スクリーンフィルム面を傷つけることがあります)

•スタンド設置の場合は、手順8へ

[壁掛け設置]

3 プッシュターンリベット(2個)を取り 外す



お知らせ

- プッシュターンリベットは、+ドライバー で反時計方向に回すと固定部が飛び出し、 外すことができます。
- 4 本体の壁掛けシャフトを壁掛け金具に 引っ掛ける



お願い

シャフトが壁掛け金具の溝に落ち込んでいることを確認してください。
 シャフトが壁掛け金具の溝に入らないときは、壁掛け金具の取り付け位置を調整してください。



置

10 スタンドにクランプを貼る コントロールボックス側のスタンド上部 に電源コード用クランプを貼り付ける。

動作の確認



電池保護用絶縁フィルム

■ 時刻設定

本体を組み立てたあと、以下の手順で時刻を設定して ください。

▲ 本機の電源スイッチを入れる

(初めて電源スイッチを入れると自動的に 時刻設定画面が表示されます。電源スイッ チを入れても時刻設定画面が表示されな い場合には、設定キーを押して設定モード に入り、設定キー(▼)を数回押して時 刻設定を選択し、画面送りキー(►)を 押します。)



設定キー(▼)で数値を変更することが できます。また、画面送りキー(▶)で 年・月・日・時刻を選択することができま す。

3 モード切替キー(⊋)で時刻設定を終了 する

年・月・日・時刻の設定を変更した場合に は、モード切替キー(**⊋**)を押した時点 で時刻が設定されます。

■ 動作確認手順

本体を組み立て、時刻を設定したあと、下記の手順で本体が正しく動作しているかどうかを確認します。

手順		確認項目				
		動作	処置			
		ディスプレイに起動画面が表示された あと、待機画面が表示される	(正常動作)			
1	電源スイッチを入れる	ディスプレイが表示されない	電源コードを確認 (49 ページ「動作確認の前に」 手順 2)			
		ディスプレイにエラーが表示される	テクニカルガイド「トラブルシュー ティング」を参照する			
		スクリーンが送られる	(正常動作)			
2	画面送りキーを押す	スクリーンがスムーズに送られない 異音が発生する	テクニカルガイド「トラブルシュー ティング」を参照する			
З	USB フラッシュメモリーま たは SD メモリーカードを	セットした USB フラッシュメモリー または SD メモリーカードがディスプ レイに表示される	(正常動作)			
	セットする	(上記動作以外)	テクニカルガイド「トラブルシュー ティング」を参照する			
	 (1) 付属のマーカーで、スク リーンフィルム面の読取可 能範囲いっぱいに [N] お よび文字などを書く (2) スタート/ストップキーを 押す 	スクリーンが動き、読み取られた画像 がディスプレイに表示される	(正常動作)			
4		(上記動作以外)	テクニカルガイド「トラブルシュー ティング」を参照する			
5	画面送りキー(▶)を押し て、読み取られた画像の細部 をディスプレイで確認する	読み取られた画像に黒や白の線が出た り、読み取られない/黒く読み取られ る	強い光が当たっていないかを確認			
		読取可能範囲が読み取られない	テクニカルガイド「トラブルシュー ティング」を参照する			
6	電源スイッチを切り、3分後 に再度電源スイッチを入れる	ディスプレイに起動画面が表示された あと、待機画面が表示され、時刻が 合っている	(正常動作)			
б		時刻が合っていない	電池保護用絶縁フィルムを確認 (49 ページ「動作確認の前に」 手順 3)			

再包装

本体を再包装するには、「本体の組み立て」(🖙 44 ~ 48 ページ)を逆に行い、輸送用包装箱をジョイントで留める。

お願い

スクリーン部を取り扱うときは、スクリーンフィルム面を持たず、枠を持ってください。
 (スクリーンフィルム面を持つと、傷つけることがあります。)





■壁に掛けるときは、壁の強度が指定の強度以上であることを確認する



壁の強度が下記の重さに耐えないと、本体が落下してけがの原因になります。 UB-5838C → 1,373 N (140 kgf) 以上 UB-5338C → 1,275 N (130 kgf) 以上



■モルタル壁には取り付けない



本体が万一漏電した場合、モルタル壁内のメタルラスまたは、ワイヤラスと壁掛け金具 の取り付けネジの接触により、発熱・発煙・発火の原因になることがあります。

■壁掛け後は、本体を手前に引いて、壁掛けシャフトが完全に壁掛け金具に引っ掛かっていることを確認する



壁掛け金具に完全に引っ掛かっていないと、本体が落下してけがの原因になることがあります。

■壁掛けの確認

壁掛けキットを取り付けるときは、事前にビルの経営者や管理技師あるいは設計者に相談し、壁の構造が本機の取り付けに適しているかをご確認ください。安全のため、取り付ける壁の種類および取り付けネジ(市販品)の選定と工事方法を充分にご相談の上で、取り付けを行ってください。(☞ 53 ~ 54 ページ)

- **I. 必要な道具と部品(これらの道具と部品は、製品には含まれておりません)** ドリル、ドライバー、メジャー、水準器、取り付けネジ(M6)×8本
- II. 事前に確認すること
 - **1. 取り付ける壁が充分な強度のものであるか**。 UB-5838C: 1,373 N (140 kgf) 以上

UB-5338C: 1,275 N (130 kgf) 以上



• 取り付け強度を確保できない場合には、必ず必要な強度を確保できる補強を行ってください。

- 2. 取り付ける場所には充分な広さが確保されているか。
 UB-5838C:高さ1,125 mm×幅1,998 mm
 UB-5338C:高さ1,125 mm×幅1,636 mm
- 3. 電源コンセントの位置は電源コネクターから3m以内の場所にあるか。また、電子黒板の裏側になら ないか。

■ 壁掛け金具の取り付け

- **取り付ける壁が充分な強度のものか確認する** UB-5838C:1,373 N (140 kgf) 以上 UB-5338C:1,275 N (130 kgf) 以上
- 2 本機を取り付ける壁に、メジャーと水準器を使用して8箇所の穴位置をマーキングする

3 壁に壁掛け金具用の穴を8箇所あける

• 使用する取り付けネジにあった穴を開けてください。

▲ 取り付けネジ4本(市販品)で壁掛け金具を取り付ける

- 壁掛け金具 1 個に対し、2 本のネジを使用します。
- •残りの取り付けネジ4本は、本機を壁掛け金具に取り付けたあとに使用します。



お願い

- 取り付けネジ(8本)は付属されていません。壁材に適した取り付けネジ(市販品)で M6 の太さのもの を購入してください。
- 壁掛け金具の穴位置の横方向公差は、± 1.5 mm です。
- ネジは緩みがないように、しっかりと締めてください。
- •壁の穴あけ、および壁掛け金具の取り付けは、「壁の種類と工事方法」(☞ 53 ~ 54 ページ)に従って 行ってください。

5 本体を組み立てる

「本体の組み立て」(18744ページ)をご参照ください。

■壁の種類と工事方法

1 コンクリート・ブロック壁

コンクリート壁には、コンクリート直接壁と、直接壁に接着剤でボードを貼付された壁およびモルタル処理 壁があります。

コンクリートの厚み(25 mm 以上)を確認のうえ、コンクリート用ドリルで穴をあけて、AY プラグボルト(アンカーボルト)を打ち込んで、壁掛け金具を取り付けます。

• コンクリート・ブロック壁への取り付け方法





使用する AY プラグボルトの 全長の深さまでコンクリート用 ドリルで穴をあける。(8ヶ所)

AY プラグボルトの挿入。 (外径 8*φ* 以上を使用)



壁掛け金具にビスを通し、 AY プラグボルトへしっかり 締め付けます。

2 石膏ボード・プラスターボード壁

この壁の材質は強度的にかなり弱く、ボードアンカーなどは直接取り付けることができません。 したがって、壁内部の下地への取り付け、および下地間に補強板を入れて壁掛け金具を取り付けます。 下地は、木造下地(胴縁)と銅製下地(スタッド)があります。 銅製下地の場合、補強板の取り付けはスクリューネジで行ってください。

• 石膏ボード・プラスターボード壁施工方法



3 木製壁(ベニア化粧合板)

木造壁は、木造下地(胴縁)にベニア合板などを貼られたものであり、合板が厚い場合はボードアンカーで 直接取り付けることができますが、合板が薄い場合は石膏ボードと同様の工法で取り付けます。いずれの場 合も取り付ける壁の強度を確認して行ってください。

4 アルミパーテーション壁

ワンフロアーを合理的に分割するための簡易間仕切りで、アルミ支柱間にパーテーション壁(薄い鉄板)を 取り付けたものです。鉄板または支柱へ壁掛け金具を直接取り付ける方法(①)と、鉄板が薄い場合などの ように、支柱間に補強板を取り付け、補強板に壁掛け金具を取り付ける方法(②)があります。 パーテーション壁断面構造(上面より)

<ポップナット取り付け方法>

(2) 母材への穴あけ

(4) 壁掛け金具の取り付け

(1) 鉄板または支柱の厚みは 0.6 mm 以上

(3) ポップナットの取り付け(専用工具使用)



•施工方法①:パーテーション壁または支柱へ直接取り付ける場合



ボードアンカー使用 ポップナット使用

•施工方法②:補強板を使用する場合



壁掛け金具とビスナット



■モルタル壁には取り付けない



本体が万一漏電した場合、モルタル壁内のメタルラスまたは、ワイヤラスと壁掛け金具 の取り付けネジの接触により、発熱・発煙・発火の原因になることがあります。



■付属品の確認

オプション機器のスタンド(UE-608035)には、次のものが付属されていますので、確認してください。

番号	部品名	形状	員数	番号	部品名	形状	員数
1	ベース	8	2	7	樹脂リベット	Ĵ	4
2	支柱		2	8	六角穴付き 平頭ボルト (M6 × 60)	□ ※ 電子黒板への 取り付けに使用	4
3	プレート		2	9	平ワッシャー (呼び 6)	 ・本電子黒板では 使用しません。 (他のモデルで 使用します。) 	4
4	六角レンチ (呼び 5)		1				
5	六角穴付き 平頭ボルト (M6 × 45)		4				
6	スプリング ワッシャー (呼び 6)	Ø	4				

■ 組み立て方

1 スタンドを組み立てる



2 本体を組み立てる

「本体の組み立て」(18744ページ)をご参照ください。

■ 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。 This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年	月	E	品番	UB-5838C UB-5338C
販売店名	電話()	_		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話(03)3491-9191 © Panasonic System Networks Co., Ltd. 2008



PJQFC0084XA F0109E3010